



# 3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

## ダルマ・ガーディアン22

～日・印が共同連携して戦術技量を向上～



### 各種行事・訓練

- ダルマ・ガーディアン22
- 師団スキー集合訓練
- 師団格闘集合訓練
- 師団フォトコンテスト
- 第3戦車大隊・第3偵察隊 隊旗返還式
- 第3偵察戦闘大隊編成完結式

### みんなの架け橋

自衛隊京都地方協力本部

### 職場の豆知識

「まさか」 著：ジョシュア

### 第3師団隊員紹介コーナー

師団戦士  
我が部隊の新戦力  
一隅を照らす  
社会の一員として

表紙写真：ダルマ・ガーディアン22 訓練開始式  
(日・印 中隊長による握手)



# 日・印が共同連携して戦術技量を向上



師団は、令和5年2月17日(金)から3月2日(木)までの間、あいば野演習場(滋賀県)において、インド陸軍との実動訓練「ダルマ・ガーディアン22」に参加した。陸自の対テロに係る戦術技量を向上させることと、陸自とインド陸軍との更なる連携の強化を図る目的で実施された。

17日の訓練開始式を皮切りに始まった機能別訓練では、射撃訓練及び市街地戦闘訓練を実施し、戦術技量を確保してインド陸軍との相互理解の促進を図った。その成果をもとに、日本とインドの共同による中隊レベルの指揮所訓練を行い、相互の認識を共有し、総合訓練に向けた共同作戦構想を具体化した。

27日から総合訓練では、空中機動により作戦準備地域へ展開し、偵察活動に引き続き建物内に立て籠もるテロリストを掃討して任務を完了した。

第3師団は、自由で開かれたインド太平洋の維持・強化に寄与するため、本訓練で得た多くの教訓を活かし、引き続き精強な部隊の育成に取り組みしていく。



両国の国旗に対して敬礼(訓練開始式)



【総合訓練】CH-47による空中機動



宿泊部屋の受け入れ準備



統裁部の認識統一



通訳をする隊員(第7普通科連隊)



懇親会での演奏(第3音楽隊)



【総合訓練】インド陸軍による建物への突入



【総合訓練】第36普通科連隊による建物内の掃討



【機能別訓練】射撃訓練



陸上自衛隊とインド陸軍との集合写真



両国指揮官による作戦構想の具現化



# 冬季戦技のスペシャリストが誕生



合格した隊員へスキー徽(き)章を授与



認定試験に臨む隊員

師団は、第7普通科連隊(連隊長前野1佐)を訓練担任部隊として、1月下旬から実施していた師団スキー集合訓練を終了した。  
最終試験の部隊スキー指導官認定試験に合格した隊員は、連隊長からスキー徽(き)章を授与され、部隊の冬季戦技能力向上のため、指導官として更に高みを目指していく。



# 心技体を極め掴んだ格闘バッジ



念願の格闘徽(き)章を手に記念写真



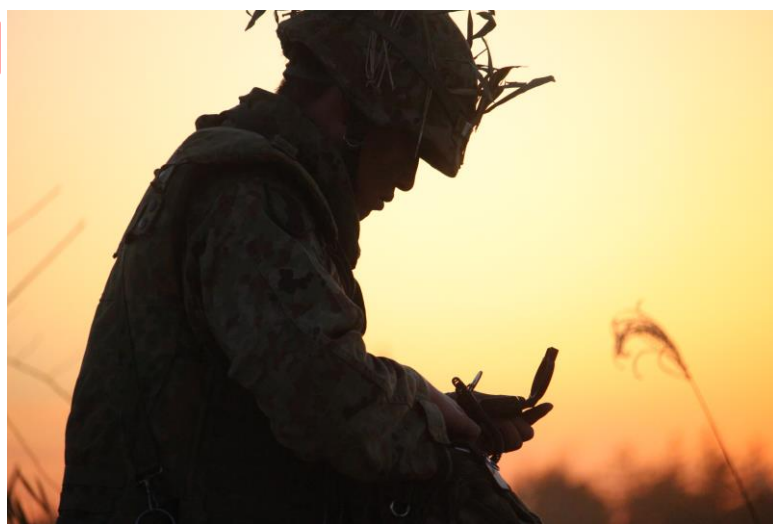
認定試験に臨む隊員

師団は、第7普通科連隊(連隊長前野1佐)を訓練担任部隊として、令和4年11月下旬から実施していた師団格闘集合訓練を終了した。  
最終試験の部隊格闘指導官認定試験に合格した隊員は、連隊長から格闘徽(き)章を授与され、部隊の近接戦闘能力向上のため、指導官として更に高みを目指していく。



第3偵察隊  
3等陸曹 榎原 翔喜 撮影  
(訓練を終え山頂から街中を望む様子)

第2位  
「任務達成」



第3特科隊 3等陸曹 後藤 翔 撮影  
(夕日を背に隊員がコンパスを使用している様子)

第1位  
「戦士の日暮れ」



第36普通科連隊  
陸士長 岡田 輝 撮影  
(定年退官する隊員を見送る様子)

第3位  
「退官の日に...」



フォトコンテストの状況

師団は、第53回師団定期演奏会の会場内において、第7回師団フォトコンテストを実施した。  
師団の各部隊から出展された写真30点を展示し、定期演奏会に会場された皆さまの投票により優秀作品を決定した。

優秀作品紹介



## 師団フォトコンテスト





# 第3戦車大隊・第3偵察隊 隊旗返還式



師団長へ隊旗を返還する足立 2 佐



師団長へ隊旗を返還する鷹田 2 佐



戦車の抜魂



千僧駐屯地隊員による見送り行事

第3戦車大隊（大隊長 足立2佐）は、3月15日（水）、師団の部隊改編に伴う部隊廃止のため、隊旗を返還した。隊旗返還後は戦車の抜魂（ぼっこん）を行い、約70年に渡る戦車部隊の歴史に幕を閉じた。

第3偵察隊（隊長 鷹田2佐）は、3月9日（木）、師団の部隊改編に伴う部隊廃止のため、約61年の歴史に幕を閉じ、隊旗を返還した。今津駐屯地（滋賀県）に異動する第3偵察隊の隊員たちは、千僧駐屯地隊員からの盛大な見送りを受け、今津駐屯地に向け旅立った。



# 第3偵察戦闘大隊編成完結



師団長は目に大隊長は牙にそれぞれ入魂



師団長訓示



師団長より手渡される大隊旗

第3師団（師団長 荒井陸将）は、3月16日（木）、今津駐屯地（滋賀県高島市）において、新編部隊である、第3偵察戦闘大隊の編成完結式を実施した。  
師団長は、大隊長（足立2佐）に対し、真新しい大隊旗を授与した。その後、部隊の発展を祈願し、16式機動戦闘車（MCV）に描かれたシンボルマークへの入魂を行った。  
訓示において師団長は「第3師団長の耳目となり、防衛警備、大規模災害発生時における師団の情報収集組織の中核として、各部隊と連携して練度向上に努めよ」と述べた。



第3偵察戦闘大隊のシンボルマークは、この度の部隊改編により廃止となった、第3戦車大隊と第3偵察隊のイメージと伝統を継承し、『サーベルタイガー』をモチーフにした。首元には発祥の地である滋賀県の琵琶湖の様子が描かれている。

# 師 団 戦 士

## 「感謝」



第3高射特科大隊 指揮情報中隊  
3等陸曹 山内 碧海



第3高射特科大隊指揮情報中隊に所属する山内 碧海（やまうち あみ）3曹へのインタビューです。

**出身地、入隊年度は。**

A 岐阜県高山市出身、令和2年1月入校（第136期・96期WAC）です。

**合格通知を受けた時の心境は。**

A 嬉しかったと同時に、中隊や周囲の隊員から信頼される陸曹になれるよう努力しようと思いました。

**【陸曹教育隊入校間について】**

**印象に残っている訓練は。**

A 総合野営訓練です。前衛分隊長として指揮を執り、同期と力を合わせて任務を完遂できたことです。

**その中で苦勞したことは。**

A 指示を出すのがあまり得意ではなく、全員の動きを見て判断及び指示を出すのにとっても苦勞しました。

**特に学んだことは。**

A 指示するだけではなく、自らも進んで行動をすることが大切だと学びました。

**陸曹になっての心境の変化は。**

A 出来るが増えるのと同時に、責任の重さを感じるようになりました。

**今後の部隊での目標は。**

A 係（人事）陸曹として、円滑に業務を行い、中隊に貢献することです。

**陸曹を目指す後輩隊員に一言**

A 同期と困難を乗り越え、目標を達成できた時の喜びはとて大きいものです。辛く大変なこともあると思いますが、頑張りましょう！

# 我が部隊の新戦力

## 「動けるヘビー級」



第37普通科連隊第1中隊  
1等陸士 津隈 覚



第37普通科連隊第1中隊に所属する津隈 覚（つぐま さとる）1士へのインタビューです。

**出身地、入隊年度は。**

A 兵庫県尼崎市出身、令和4年度入隊です。

**入隊の動機は。**

A 叔父が陸上自衛官で、色々な話を聞くうちに興味が湧き、入隊を決意しました。

**現職務のやりがいは。**

A 迫撃砲小隊の弾薬手として勤務しています。各種弾薬の特性や効果を日々学んでいけることがやりがいです。

**現職務で苦勞していることは。**

A 各種弾薬の取り扱いです。弾薬の取り扱いには危険が伴うため、すごく神経を使います。

**尊敬する先輩は。**

A 営内班長の川満3曹です。訓練及び職務面において親身になった指導をしていただいています。

**営内での生活は。**

A 先輩の方たちが良い人ばかりでいつも楽しく過ごしています。1中隊に配置されて良かったと思います。

**今後の目標は。**

A 陸曹候補生試験に一発で合格できるように体力作りをしていきます。まずは体重を85kgまで落とすことが当初の目標です。

**最後に一言**

A 立派な迫撃砲隊員になれるよう、日々努力していきます。

# 一隅を照らす

## 「陰日向なく」



第3後方支援連隊 第2整備大隊  
3等陸曹 福井 貴斗



第3後方支援連隊第2整備大隊第2普通科直接支援中隊に所属する福井 貴斗（ふくい たかと）3曹を紹介します。

福井3曹は、平成29年9月に連隊に所属し、令和2年7月3曹昇任以来、誠実かつ熱心に支援対象装備品である車両の予防整備及び故障整備を実施し、不可動装備品の絶無に努めています。また、第1営内班長として班員の指導にあたり、定期的に団結会を開く等、若年隊員の心情把握にも努めています。特に、陸曹候補生受験者の指導を課業内外を問わず行い、中隊の後輩育成に大きく貢献しています。さらに、課外活動において、趣味のプラモデル作成、カメラ、サバイバルゲームを通じて隊員間の融和と団結を図る等、中隊の士気高揚の一助となっています。

そんな、福井3曹の誠実で陰日向のない姿勢は、中隊でも若年隊員の模範となり、上司同僚からも信頼を得ており、まさに「一隅を照らす」に相応しい隊員です。



趣味のプラモデル作り

# 社会の一員として

## 「自分に合った職業を」



元第3戦車大隊 本部管理中隊  
大南 裕司さん

第3戦車大隊本部管理中隊に所属していた大南 裕司（おおみなみ ゆうじ）元士長へのインタビューです。現役時代は衛生小隊で衛生救護員として活躍され、現在は、株式会社 井筒八ッ橋本舗で勤務をされています。

**在隊時期は。**

A 平成27年3月から約2年勤務しました。

**在隊間で印象に残っていることは。**

A 銃剣道練成隊に入り、短い期間でしたが、練成させていただいた事です。

**自衛隊での経験が役立っていることは。**

A 銃剣道を通じ、礼儀の大切さを学びました。また、挨拶をする習慣が、職場や営業先の方とコミュニケーションを取るうえで非常に役に立っています。

**現在の職場について。**

A 主な仕事は、取引先への商品の納品と営業活動です。

**現職業のやりがいは。**

A 取引先と交渉し、普段とは違う場所に商品を展開することで売り上げアップに繋がることにやりがいを感じています。

**現役隊員に向け一言**

A 自衛隊で学んだ礼儀と挨拶は、人との繋がりを作るのに非常に大切です。私も、学んだことを忘れず、日々頑張っています。皆さんも、健康に気を付けて、日々の業務頑張ってください。

### 活動の様子 (予備自衛官の訓練)



援護課は隊員の人生設計を精一杯お手伝いします。

【Twitter】



【H P】



【Facebook】



【Instagram】



【お問い合わせ】

自衛隊京都地方協力本部広報室  
内線 8-723-521



# 京都地方協力本部

## 2府4県

# みんなの架け橋

近畿2府4県に  
所在する各自衛  
隊地方協力本部  
からの情報発信  
コーナー

横内 雅史 (よこうち まさふみ) 3等陸曹 援護課 1年目



- ① 第3師団での勤務  
第3施設大隊
- ② 現職務  
援護官
- ③ やりがい  
お世話になった上司と後輩隊員の  
支援ができること。
- ④ 第3師団の皆さんにメッセージ  
京都で就職をお考えの方は是非京  
都地本で!

仕事内容：任期制隊員の適職援護、優良企業の開拓等の業務

九重 義容 (ここのえ よしひろ) 1等陸曹 援護課 3年目



- ① 第3師団での勤務  
第7普通科連隊
- ② 現職務  
予備自衛官係
- ③ やりがい  
退職・退官された懐かしい方々に  
逢えること。
- ④ 第3師団の皆さんにメッセージ  
退職後は是非とも予備自衛官の志  
願をよろしくお願いします。

仕事内容：予備自衛官の管理、訓練の調整や手当の支払い等の業務

第3師団の皆さん、自衛隊京都地方協力本部です。  
京都地方協力本部には、第7普通科連隊、第3施設大隊、第3  
特科隊等、第3師団出身の隊員が多く勤務しています。  
今回は、京都地方協力本部援護課で任務を遂行する第3師団出  
身の二人を紹介します。

「まさか」著：ジョシユア

よく災害等が起きると「ここは何十年も災害など  
で被害が出たことはない。まさかこんなことになる  
なんて」というコメントを耳にします。ところが、  
何百年もさかのぼってみると災害の影響を受けてい  
る地域だったとか、ハザードマップ  
にぼつちり載っている地域だったり  
することがよくあります。事前にそ  
ういった情報を収集して、いざ災害  
時には被害を最小限に抑えるため、  
災害が予期される際は早めに避難を  
する、備蓄や携行品を前もって準備  
しておくなどの「物心両面の準備」が大切となりま  
す。

数年前の豪雨の際、実家が土砂で埋まり、母と祖  
母が避難所生活を送りました。

深夜に轟音と共に裏山が  
崩れ、その土砂が家を飲  
み込みました。幸いなこ  
とにその土砂が駐車場や  
路地にうまく流れたため  
1階半分は土砂に埋まり  
ましたが、家は潰れずに済みました。

私がこの事実を避難所生活となった母からの電話  
で初めて知りました。母の無事に安堵した私は言い  
ました、「そこは何十年も災害などで被害が出たこ  
とがない地域でしょうか？まさか！」

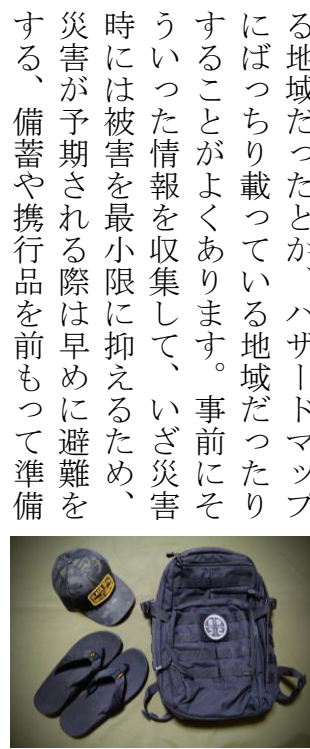
この一件があり、私が改めてハザ  
ードマップを調べたところ、ぼつち  
り「がけ崩れ」が予想される地域と  
して重なっていました。30年以上何  
事もなかった地域ですが、災害の歴  
史から見れば短い期間に過ぎません。  
自衛官である我々は、常日頃からあらかじめ気を  
配っておきたいものです。



深夜に轟音と共に裏山が崩れ、その土砂が家を飲み込みました。幸いなことにその土砂が駐車場や路地にうまく流れたため1階半分は土砂に埋まりましたが、家は潰れずに済みました。

「まさか」著：ジョシユア

よく災害等が起きると「ここは何十年も災害など  
で被害が出たことはない。まさかこんなことになる  
なんて」というコメントを耳にします。ところが、  
何百年もさかのぼってみると災害の影響を受けてい  
る地域だったとか、ハザードマップ  
にぼつちり載っている地域だったり  
することがよくあります。事前にそ  
ういった情報を収集して、いざ災害  
時には被害を最小限に抑えるため、  
災害が予期される際は早めに避難を  
する、備蓄や携行品を前もって準備  
しておくなどの「物心両面の準備」が大切となりま  
す。



## 職場の知識



第3師団ホームページでは、過去の  
3師団だよりや、開催予定イベントの紹介  
などを逐次更新しています！  
Twitter (ツイッター) も更新し  
ているので、是非遊びに来てくださいね！

【QRコード】



ホームページ



Twitter

